

ご挨拶

PTA会長 加藤 育子

平素より総社南高等学校PTA活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度、PTA会長を務めさせて頂いております。本来であればPTA総会にてご承認頂くところ、昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の為、役員会にて承認、書面でのご報告となりました。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、私たちの生活は様変わりしました。子供たちはその変化に対応し、新たな生活様式を身に付け、制限がある中でも日々の学校生活を明るく元気に過ごしている今日をありがたく思います。

今年度のPTA活動は中止や延期が多い中、第70回全国高等学校PTA連合会「島根大会」は大会史上初のライブ配信で行われました。同大会テーマは八百万の神が集う土地からの「ご縁づくり」。オンラインで全国の会員を繋げるご縁づくりを展開し、新たなPTA活動の在り方を示してくださいました。

ICTの活用は、今年の南翔祭でも初の試みとなりました。緊急事態宣言下での開催のため一般公開が中止となり、代替えとして動画共有サービスによるライブ配信とDVD作成を行う事となりました。感染防止によるたくさんの制限がある中で、子供たちは最高の時間にする為に、自分たちに何が出来るかを考えて多くのアイデアを出してくれたと思います。映像から見られた子供たちの溢れんばかりの笑顔には、困難な環境の中で今しかない時間を精一杯生きようとする力強さを感じました。

ライブ配信は場所を選ばず、一時は視聴が600名超えた模様です。例年であれば、参観できなかったご家族にも子供たちの姿を視聴して頂けたのかもしれませんが。保護者の声に柔軟に、早急に対応して下さった先生方、各関係者の皆様方に心から感謝いたします。

時代は常に変化しています。私たちPTAも出来ない事に目を向けるのではなく、出来る事に目を向け、チャレンジし続ける子供たちと先生方をサポートしていきたいと思っております。

今後もPTA活動にご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



「生きる力」の育成を目指して

校長 秋山 宏

このたび、令和3年4月1日付けで校長に着任いたしました秋山宏と申します。

715名の生徒、73名の教職員とともに毎日、充実した学校生活を送らせてもらっています。生徒たちは明るく素直であり、教職員も前向きで熱心です。

そして、何より、保護者の皆様や地域の方々が温かく学校を支えていただいていることを心から嬉しく感じています。

しかしながら、いまだ続く新型コロナウイルス感染症の影響で、本校の教育活動もこれまで通りにできないことが数多くありました。振り返ると、入学式の規模縮小、春季球技大会の延期や修学旅行の中止、南翔祭(文化の部、体育の部)での入場制限など様々な対応を行ってきました。生徒たちは、昨年度の経験を踏まえ、多くの制約の中で、時には悔しい思いをしながらも、緊急事態を笑顔で乗り超えてくれました。

PTA活動におきましても、PTA評議員、PTA総会を中止とするなど、今年度につきましても今まで経験しなかった対応を強いられました。それでも、生徒たちや先生方はその中で工夫を凝らしながら、懸命に頑張っているところです。また、PTA活動でも加藤新会長のもと、これまで通りではない状況を踏まえて、PTA役員の方と相談しながら何が出来るかをその都度、協議していただきました。

「予測困難なこれからの社会にいかにか立ち向かっていくのか」ということを試されているかのような日常でした。今年度も生徒たちが互いに主体的に向き合って関わりあい、自らの可能性を發揮し、多様な他者と協働しながら、幸せな人生を切り拓き、未来の創り手となることができるように、教育を通して「生きる力」を育てていきたいと思っております。

今後ともPTA活動に温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



教職員紹介



1年団



2年団



3年団



管理職・事務